

観世流 鳥取観世会 新春謡曲・仕舞大会

とき 平成三十年二月四日(日) 午後二時〜四時半
ところ 鳥取市弥生町(若桜街道)パレットとつとり(2F市民交流ホール)

昭和三十七年一月に若桜橋詰の黒住教会にて「謡初」が開催されて以来、「合同初謡」などと名称は変わりながら、ほぼ毎年一月か二月に流友の謡曲・仕舞の合同発表会を続けて、今回で五十回の節目となりました。

(小謡)

御題 語

全員

當 麻キリ 谷田カヅ子 地 中谷邦夫
近藤 光 (花清会)

(素謡)

小袖曾我 ツレ(五郎)中谷佐智子
(母)中西由美子

鉢 木 ツレ谷口明美
シテ井口卓郎

シテ(十郎)馬場進 竹本万寿子

ワキ古河能彦

近藤 光

地(供地)

地 中谷邦夫
谷田カヅ子

(千謡会)

西村 正行

(鳥取観世会)

(独吟)

高 砂クセ 馬場進

熊 野クセ・中之舞・キリ 馬場進
井口卓郎

草子洗小町 中谷邦夫

(花清会)

松 風キリ 古河能彦

(千謡会)

(仕舞)

馬場進

東 北キリ 近藤光 地 中谷邦夫
近藤 早苗

融 サシ・早舞・キリ 中谷邦夫
井口卓郎

シテ 中谷佐智子 地 近藤光

古河能彦
馬場進

(鳥取観世会)

△裏面に続く▽

△三時頃▽ (舞囃子「テープ入り」)

(素謡)

難波

後ツレ 中谷 佐智子
ツレ 中西 由美子
シテ 中谷 邦夫
ワキ 馬場 進

西村 正行
近藤 早苗
地 近藤 光
谷田 カヅ子
竹本 万寿子
(鳥取松響会、花清会)

△ 休憩 十分 ▽

△四時頃▽ (リレー能)

竹生島

その一 居囃子 (大小鼓打ち出し)

一声く中入

「竹に生まるゝ鶯乃・・・」

・・・只今竹生島に参詣仕り候。」

△途中省略▽

下歌「名こそ楽波や・・・」

・・・兎も波を奔るか面白の島乃景色や」

△途中省略▽

カゝル 前ツレ「なうそれまでもなきものを」

・・・波に入らせ給ひけり」 △中入▽

前ツレ 中谷 佐智子
前シテ 中西 由美子
ワキ 中谷 邦夫

古河 能彦
地 井口 卓郎
大鼓 近藤 光
馬場 進
小鼓 竹本 万寿子
近藤 早苗

△ 出演者入れ替えて、その二に続く ▽

その二 舞囃子

中入後くキリ

地「御殿頻りに鳴動して・・・」

・・・龍宮に飛んでぞ。入りにける」
後ツレ 谷田 カヅ子
後シテ 竹本 万寿子

中西 由美子
馬場 進
大鼓 近藤 光
中谷 邦夫
地 井口 卓郎
古河 能彦
中谷 佐智子
(鳥取観世会)

(付 祝言)

猩々キリ

「酔ひに臥したる枕乃夢の・・・」
尽きせぬ宿こそ。めでたけれ」

午後四時半頃終了予定

主催 鳥取観世会

鳥取松響会

鳥取清調会

花清会

千謡会

入場無料

お誘い合せの上、どなた様も
お気楽にご来場ください